

日時： 2018年7月18日(水) 10時00分～13時20分

場所： 国際文献社 山吹町会議室

出席理事：久保英也(会長)、村山武彦(副会長、事務局長)、上野雄史(Skype参加)、大沼進、小野恭子(Skype参加)、岸本充生、竹田宜人、藤井健吉、米田稔(Skype参加)、李泰榮(Skype参加)

出席監事：近本一彦

1. 理事会の成立

久保会長より理事の過半数の出席を得て理事会が成立することが宣言された。

2. 前回議事録の確認

村山事務局長より議事録案の説明があり、承認された。

3. 報告事項

(1) 会員の異動および会費納入状況

村山事務局長より書面にに基づき報告があり、メール審議の段階にあった平林雅樹氏の入会を承認した。また、会費納入状況の人数ならびに割合について質問があり、若干修正した内容を確認した。

4. 審議事項

(1) 今期における理事の役割分担

久保会長から書面にに基づき説明があり、審議の結果、今期理事会の主たる分担を次のとおりとした(敬称略)。

- ・編集委員会：米田、大沼
- ・情報管理委員会：李
- ・事業委員会：岸本
- ・リスクマネージャ委員会：竹田
- ・国際委員会：藤井
- ・表彰委員会：神田
- ・広報委員会：小野
- ・財務：上野

また、戦略業務については、理事の分担について次のような整理がなされた(順不同、敬称略)。

- ・リスクマネージャ制度：竹田
- ・リスク学事典の編集・戦略活用：久保、岸本、藤井、小野
- ・学会誌の電子ジャーナル化：米田、大沼、小野
- ・国際学会との関係を見据えた組織の見直し：米田、藤井、村山
- ・学会の増収策：上野
- ・会員数の拡充：竹田理事を中心に行政機関の会員を増強する策を検討する。また、過去1年程度

の新規入会者に動機や学会への期待等を調査するとともに、入会時のフォームに予め同様の内容を記入する欄を用意する。

- ・2019年度春季シンポジウム：事業委員会で検討を進める。
- ・2019年度大会：候補として、東工大、産総研、国環研、静岡県立大などが挙がり、具体的な可能性について引き続き検討する。
- ・地域別報告会：実施することの効果を整理したうえで、実施の是非を改めて検討する。

(2) 今年度の年次大会関係

岸本理事より書面に基づき状況報告があった。理事会主催の会合については、内容や趣旨を改めて検討した結果、年次大会のプログラムには含めず、中期戦略が固まった段階で、メールマガジンを通じて会員に周知し意見を求めるとともに、年次大会では受付時の資料配布、ポスターの掲示などによる情報提供手段を検討する。

(3) 年次大会・春季シンポジウムにおける名誉会員、後援・協賛学会員の参加費等の扱い 久保会長から書面に基づき提案があり、次の内容が承認された。

主項目	行 事	名誉会員対応	後援・協賛学会の会員対応
年会費	—	無料(定款第8条2項)	—
年次大会	年次大会参加費: 主な報告者(自発報告)	有料(正会員価格)	筆頭著者、報告者にはなれない。
	年次大会参加費: 主な報告者(依頼報告)	大会実行委員長決定、理事会報告	企画セッションの報告者となることは可能。 大会実行委員長決定、理事会報告
	年次大会参加費: 報告なし(一般)	無料	有料(正会員価格、学生会員価格)
	懇親会費:(依頼報告者)	大会実行委員長決定、理事会報告	有料(正会員価格、学生会員価格)
	懇親会費:(一般)	有料(正会員価格)	有料(正会員価格、学生会員価格)
シンポジウム	シンポジウム: 主な報告者(依頼報告)	事業企画担当理事決定、理事会報告	筆頭著者、報告者にはなれない。
	シンポジウム: 報告なし	無料	有料(正会員価格、学生会員価格)
	懇親会費:(依頼報告者)	事業企画担当理事判断	有料(正会員価格、学生会員価格)
	懇親会費:(一般)	有料(正会員価格)	有料(正会員価格、学生会員価格)
その他 学会イベント	参加費	有料(正会員価格)	有料(正会員価格、学生会員価格)
	懇親会費	有料(正会員価格)	有料(正会員価格、学生会員価格)

(4) 年会費のクレジット決済の導入に関する検討

小野理事より書面に基づき説明があり、審議の結果、費用対効果や他の手段との比較等の面から、導入は見送ることとした。

(5) リスクマネージャ制度の見直し

竹田理事より書面に基づき状況報告があった。リスクマネージャの登録時に収められている費用は登録料として位置づけていることを確認するとともに、今後の制度のあり方について引き続き検討することとなった。

以上

議事録署名人 (署名) _____ 印

議事録署名人 (署名) _____ 印